

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課担当課長 青木 達哉	
経企-19	実施事業	男女共同参画推進事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 文化人権推進課
				関連課
総合計画上の位置付け	分野	人権	施策の方針	人権施策の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	固定的性別役割分担意識を見直し、あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画を推進するため。
効果	あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画社会を形成する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

- ・「かまくら21男女共同参画プラン」を推進する啓発事業を行った。
- ・男女共同参画推進条例に沿って男女共同参画行政を推進した。
- ・面接・電話による女性相談業務を行った。
- ・「かまくら21男女共同参画プラン」の改訂を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数	176,466人 81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	3,650	当初予算(千円)	4,142	
	国県支出金	665	国県支出金	665	
	地方債		地方債		
	その他	35	その他	102	
	一般財源	2,950	一般財源	3,375	
	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,597	人件費(千円)	7,948	
	総事業費(千円)	11,247	総事業費(千円)	12,090	
	市民1人当りの経費(円)	63	市民1人当りの経費(円)	69	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	今後とも市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー かまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンプル21」
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 現在の事業内容、予算規模は適正と考えられることから、現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	必要な事業を市民と協働して市民のニーズを捉えながら、効率よく実施している。男女共同参画の考え方は、市民に少しずつでも浸透させていく必要があることから、引き続き、啓発事業を実施していかなければならない。また、その指標として審議会等委員における男女比の均衡に努めていく。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・女性委員の登用推進要綱で定めている「男女いずれか一方の数が、総数の10分の4未満にならないこと」とする目標の達成率は28.2%にとどまっているため、より効果的な手法を検討する必要がある。 ・男性に対する男女共同参画社会実現に対する啓発にも取り組む必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	・講座等の開催により、男性も含めた市民に男女共同参画社会実現のための啓発を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・市民・事業者に対して、男女共同参画社会の理念をさらに周知すること。 ・男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」の運営委員の活動が停滞しているため、運営方法の見直しや新たな人材や若い世代の加入を進めることが必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	審議会等の女性委員割合								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	目標:30%	目標:42%	目標:40%	目標:40%	目標:40%	目標:30%	目標:40%	目標:30%	
	達成率:26.8%	達成率:41.0%	達成率:27.6%	達成率:28.0%	達成率:28.0%	達成率:23.3%	達成率:30.9%	達成率:27.9%	

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	近隣他市と比較してやや遅れを取っている。
---------------------------------------	-----------------------------

◎ 事業実施に係る指標

◎ 事業実施に係る指標										
指標の内容		審議会等の女性委員の割合				単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31	
政策・方針決定過程への女性の参画の指標として全国的に取り入れられているため。		目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		30.0	
		実績値	25.3	26.8	24.7					
		達成率	84.3%	89.3%	82.3%					

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	
--	--